

第七十三回
帝國議會
貴族院

國家總動員法案特別委員會議事速記録第六號

昭和十三年三月二十四日(木曜日)午前十一時二十七分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 開會致シマス

○伊澤多喜男君 私ハホンノチョット二三分質問ヲ致シタクゴザイマスガ、御許シヲ願ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ドウゾ……

○伊澤多喜男君 衆議院デモ多分質問ガアツトラウト思ヒマスシ、此ノ委員會デモ質問ガアツカモ知レマセヌガ、私聽キ漏ラシテ居ルカモ知レマセヌカラ伺フノデスガ、一ツノ勅令ニ委任スル理由トシテ、法律ニスルト云フト、外國ナドニ對シテ秘密ガ保テナイト云フコトガ一ツノ理由ニナツテ居ルヤウデスケレドモ、是ハ申ス迄モナク、勅令デアリマシテモ、法律デアリマシテモ、共ニ公布サレルノデアリマスカラシテ、法律ダカラ秘密ガ漏レル、勅令ダカラ秘密ガ漏レナイト云フコトハ私ハ理由ニハナラヌト思ヒマスガ、何カ私ニ分ルヤウナ理解ガアツトラ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 戦時ニ當リマシテ、愈々實行スル時ニナリマシテ發表スルコトハ差支ナイガ、事前ニ早く發表スルコトハ差支ヘアル、斯ウ云フ意味ノ區別デアリマシテ、サウ云フ場合ガアルト云フ意味ノ區別ニ考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 サウスルト私ノ伺ッタコトハ御承認ニナルノデスナ、要スルニ法律デアッテモ、勅令デアッテモ、兎ニ角外國ニ對シテ秘密ヲ保テルカ、得ヌカト云フコトニ付テハ、何等ノ區別ガナイト、是ハ御承認ニナルノデスカ

○政府委員(青木一男君) 世間ニ分リマス關係ハ同様デアルト思ヒマス、但シ此ノ法律デ今カラ一般ニ示シテ居ルト、法律ニハ具體的ニ書カズニ、其ノ時ニ至ッテ勅令デ差支ナイコトヲ發表スルト云フコトハ自ラ違フノデアリマシテ、已ムヲ得ザル時迄ハ伏セテ置ク方ガ宜シイト云フ事情ガアルノデアリマス

○伊澤多喜男君 私ハ今カラトハ申シマセヌ、今カラトモ何トモ申シテ居ラス、例ヘバ戦争ガ假ニ來年始ル、其ノ來年ノ何月カ知ラスケレドモ、其ノ時ニ即應シテ法律ヲ出スト云フコトト、勅令ヲ出スト云フコトト、其ノ出シタ二ツ共ニ公布サレルノダカラシテ、ソレデアアルカラシテ公布サレ、バ

少シモ秘密ガ保テナイデハナイカト云フコトヲ私ハ言ッテ居ル、同ジコトデヤナイカ、是ハ御承認ニナラヌト云フ譯ニハイカヌダラウト思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(青木一男君) 其ノ點ハ御説ノ通りデアリマス、併シナガラ政府ガ其ノ際法律ノ制定ノ手續ヲ執ルヨリモ、本法ノ委任命令ノ形ニ依ッテ實行シタ方ガ宜シイト申上ゲタ意味ハ又自ラ別ノ理由ガ入ッテ居リマス

○伊澤多喜男君 ソレヲ伺ッテ居リマセヌカラ宜シウゴザイマス、私ノ御問ヒシタコトニ御答下サレバ結構デス、是デ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 質問ハ之ヲ以テ終了致シタコトト認メマス、是ヨリ討論ニ入リタイト存ジマス、通告順ニ依リマシテ大井男爵ノ御發言ヲ願ヒマス

○男爵大井成元君 私ハ國家ノ全力ヲ擧ゲテ施行スル所ノ近代戦ノ要求ニ鑑ミマシテ、先日來慎重審議又熟慮ノ結果、今回政府ヨリ提出ニナリマシタ此ノ國家總動員法案ハ大體ニ於テ適當ナルモノト認メマス、仍テ本案ハ全部政府提出ノ通り賛成シタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 塚本君

○塚本清治君 私ハ國家内外ノ情勢ニ照シマシテ、此ノ種法律ノ極メテ必要ナルコトヲ信ジ且其ノ成立ヲ希望スル者デアリマス、但シ此ノ國家總動員法案ニ對シテハ茲ニ修正ノ意見ヲ有ッテ居ルノデアリマス、之ヲ提出致シマス、即チ原案第二條、第三條、第十八條中ニアル「勅令ヲ以テ」ノ五字ヲ「別ニ」ノ二字ニ改メ、又第四條、第五條、第六條、第七條、第八條、第九條、第十條、第十一條、第十三條、第十四條、第十五條、第十六條、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、第二十一條、第二十二條、第二十三條、第二十四條、第二十六條、第二十七條中ニアル「勅令」ノ三字ヲ「別ニ」ノ二字ニ改メタイノデアリマス、修正ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマス、政府原案ノ以上列擧致シマシタ各條ニ於テ勅令ヲ以テ定メシメムトスル所ノモノハ、其ノ内容ガ頗ル重大デアリマシテ、且廣汎ナル立法事項ニ互ッテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ包括的ニ命令ニ委任セムトスルモノデアリマス、斯クノ如キハ立法事項ハ之ヲ法律ヲ以テ定メシムル

憲法ノ精神ニ副ハナイモノト認メマスノ
デ、右申述べマシタ通り修正ヲ加ヘタイノ
デアリマス、固ヨリ緊急ノ必要アル場合ニ
於テ緊急命令ニ依ッテ定メマスルコトヲ豫
想スベキコトハ申ス迄モナイノデアリマス、
何卒御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 松村君

○松村義一君 私意見ヲ申上ゲル前ニ、今
ノ修正案御提出ノ塚本サンニ御尋ネ申上ゲ
マスガ、今ノ條文ヲ初メ二條、三條、モウ
一ツ何條カ御指摘ニナリマシタガ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 松村君御高聲
ニ願ヒマス、少シ聽エマセスカラ……

○松村義一君 私意見ヲ申上ゲル前ニ、塚
本君ニ御尋ヲ申上ゲタイノデゴザイマス、
今御讀上ニナリマシタ條文ヲ甚ダ恐縮デゴ
ザイマスルガ、モウ一度緩ク御讀上ヲ願
ヒタイト思フノデゴザイマス

○塚本清治君 御要求ニ依リマシテ申上ゲ
マス、原案第二條、第三條、第十八條中ニ
アル「勅令ヲ以テ」ト云フ此ノ五字ヲ「別ニ」
ト云フ二字ニ改メタイノデアリマス、アト
ハ實ハ以下何條ト行ケバ宜カッタノデスガ、
モウ一遍讀ミマスカラ……、第四條、第五
條、第六條、第七條、第八條、第九條、第
十條、第十一條、第十三條、第十四條、第

十五條、第十六條、第十七條、第十八條、
第十九條、第二十條、第二十一條、第二十
二條、第二十三條、第二十四條、第二十六
條、第二十七條ノ中ニアル「勅令ノ」ト云フ
三字ヲ「別ニ」ノ二字ニ改メルノデアリマス
○松村義一君 私ハ只今塚本委員カラ御提
出ニナリマシタ修正案ニ賛成ヲ致スモノデ
ゴザリマス、賛成ノ理由ヲ簡單ニ申述べタ
イト存ジマス、私ノ考ト致シマシテハ國家
總動員ト云フコトニ付キマシテハ大イニ贊
成デアルノデゴザリマス、國家ガ國防ノ目
的ヲ達成スルガ爲ニ國家ノ全力ヲ最モ有效
ニ發揮シナケレバナライ、サウシテ飽迄
戰ニ勝ツト云フ爲ニ計畫ヲ完備致シマスル
コトハ極メテ必要デナケレバナラヌノデゴ
ザリマス、從ッテ總動員計畫ノ完成ヲ期シ
マスルコトハ最モ必要ナコトデゴザリマス、
而シテ是ガ根據トナルベキ法律ヲ豫メ設ケ
テ置キマシテ、之ニ依リマシテ國民ノ戰時
ニ對スル覺悟ヲ平時ニ於テモ十分有クシメ
ル、サウシテ本當ニ總動員計畫ヲ完全ナラ
シメル、國民ノ心カラノ協力ヲ得ルガ爲ニ
平素カラ準備ヲスルト云フコトハ必要デア
ルト思フノデアリマス、更ニ簡單ニ申上ゲ
マスルナラバ、總動員計畫ヲスル、又是ガ
爲ニ豫メ法律ヲ作ルト云フコトモ共ニ必要

デアルト思フノデアリマス、唯今回提出致
サレマシタ國家總動員法案ヲ能ク檢討致シ
マスルト、不完備ノ點ガ非常ニ多イト思フ
ノデゴザリマス、其ノ中デ最モ私共ガ心配
ヲ致シマスノハ、丁度塚本委員ガ言ハレマ
シタヤウニ、非常ニ廣イ範圍ニ於テ命令ニ
委任ガサレテアルノデゴザイマス、人ハ帝國
臣民ノ全部ニ及ンデ居リマス、物モ非常ニ廣
イ範圍ニナッテ居ルノデゴザリマス、而シテ
是等ノ事柄ニ對シマスル制限ハ或ハ人ヲ徵用
セシメル、或ハ物ヲ使用、收用スル、其ノ
他ノ制限ガアル、物ニ關シマシテモ幾多ノ處
分ニ對シテ重要ナル制限ヲスルコトニナッテ
居リマス、サウシテ是等ノ權利義務ニ對シマ
スル制限ヲ致シマスル場合ニ於テ、ソレハ
法律ニ決メテアリマスルノハ、戰時ニ際ス
ルト云フコトト國家總動員上必要デアルト
云フコトダケデアアルノデアリマス、政府ハ
細部ヲ命令ニ委任ヲスルト言ハレテ居ル
ノデゴザイマスガ、私共常識ヲ以テ考ヘマ
スナラバ、細部デハアリマセヌ、其ノ要部
ヲ命令ニ委任サレテアルノデゴザイマス、
非常ニ廣汎ナル事柄ニ付キマシテ廣汎ナル
重要ナ事項ガ全部命令ニ委任サレテアルノ
デゴザリマス、斯クノ如キ法律ハ未ダ曾テ
其ノ例ヲ見マセヌ、法律ガ其ノ内容ヲ規定ス

ルニ當リマシテ、之ヲ命令ニ委任ヲスルト
云フ場合ハ極メテ具體的ニ大綱ヲ規定シ、サ
ウシテ本當ニ其ノ細部ヲ命令ニ委任スルト
云フコトデナケレバナリマセヌ、然ルニモ拘
ラズ斯クノ如キ廣汎ナル委任命令ノ事柄ヲ
決メマスルト云フコトハ、私共我ガ憲法ノ
條規ニ照シマシテ、之ニ違反ヲスルノデハ
ナイカト云フ深イ疑念ヲ有チマス、少クト
モ我ガ憲法ノ大精神ニ背クモノデハナイカ
ト云フヤウニ考ヘルノデゴザイマス、何ガ
故ニ斯クノ如キ結果ニ相成ッタノカト云フ
コトヲ考ヘテ見マスルト、極メテ善意ニ考
ヘマスナラバ、政府ハ長年ノ間研究ヲシタ
ノデアアル、斯ウ言ハレテ居リマスケレドモ、
研究ヲサレテ居リマスノハ、總動員計畫デ
アル、總動員計畫ニ付キマシテハ、長年考
究ヲシテ居ラレルデゴザイマセウ、併シナ
ガラ之ガ根據トナル法律ニ付キマシテハ、
能ク研究サレテ居ラヌト思フノデゴザイマ
ス、細カイ點ニ付テ考ヘマシテモ、極メテ
私共ノ了解致シ兼ねルヤウナ點ガ澤山アル
ノデゴザイマス、此ノ法律ヲ立テルニ付テ
ノ研究ガ十分デナイ、其ノ結果遂ニ斯クノ
如キコトニナッタノデハアルマイカ、今日迄
度々此ノ點ニ付テ質問ガ試ミラレ、政府カ
ラ御答ヘガアッタノデゴザイマスガ、ドウシ

テモ私共ハ其ノ御答ヲ了解スルコトガ出來ヌノデゴザイマス、要スルニ善意ニ解釋スルナラバ、此ノ法制ヲ立ツルニ付テノ研究ガ不十分ナルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデゴザイマス、又若シモ極メテ惡意ニ解釋ヲ致シマスルナラバ、政府ハ憲法上ノ機關タル帝國議會、或ハ樞密顧問、諮詢ト云フヤウナ手續ヲ省イテ獨裁的ニヤツテシマハフ、斯ウ云フ御考ガアルノデヤナイカ、斯クノ如キ御考ヘデ若シアリトシタナラバ、是ハ重大ナルコトデナケレバナラヌノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ、研究不十分ト云フ結果デアリマシテモ或ハ又政府ガ獨裁的ニヤラウト云フ御考デアリマシテモ、何レニシテモ其ノ結果ガ憲法ノ規定ニ反スルノ疑ヲ持タシムルニ至ル、或ハ少クトモ憲法ノ大精神ニ反スルト云フコトデゴザリマスルナラバ、私共貴族院議員ト致シマシテ之ニ協賛ヲ與フル譯ニハ參ラヌノデゴザリマス、或ハ斯ウ云フコトヲ言ハレル人ガゴザリマス、若シモ戦争ガ起ツタナラバドウシテモ勝タナケレバナラヌ、勝ツガ爲ニハ如何ナルコトデモシナケレバナラヌ、國家ノ全力ヲ盡シテ行ク爲ニハ何デモシテ行カナケレバナラヌ、其ノ際ニ法律ノ末ニ互ッテ之ヲ論議スルガ如キハ豎子ノ

仕業デアアル、詰ラスコトデアアル、斯様ニ考ヘラレル向ガアルカモ知レマセヌ、是ハ尤デアリマス、國家大事ニ當リマシテハ小サイコトハ論議ヲセズニ、サウシテ國民協力一致ノ實ヲ擧ゲナケレバナラヌト云フ考方ニ對シマシテハ極メテ贊意ヲ表スル者デアアルノデゴザリマス、併シナガラ更ニ考ヘテ見マスルト、法律ヲ協賛スルニ當リマシテ、其ノ法律ガ憲法違反ノ疑ガアル、或ハ憲法ノ大精神ニ反スルト云フ疑ガアリマスナラバ、ドウシテモ之ニ對シテ贊成スル譯ニハ參ラヌノデゴザリマス、而シテ我ガ憲法ニ於キマシテハ、臨時緊急ノ場合ニ於キマシテハ緊急ノ場合ニ處スルダケノ措置ガ出來ルヤウニ謳ッテアルノデアリマス、必要アレバ帝國議會ヲ召集スレバ宜イ、何時デモ召集ハ出來ルノデアアル、召集スルノ暇ガナケレバ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ憲法第八條ニ據ルコトガ出來ルノデアリマス、更ニ非常ニ急迫シタ事情ニ立至リマスナラバ憲法三十一條ノ規定ニ據ッテ出來ル、我ガ憲法ハ總テノ場合ヲ豫想シテ極メテ適切ニ出來テ居ルノデゴザイマス、何ヲ苦ンデカ別ニ廣汎ナル委任ヲシテ行政權ニ委ネルノ必要ガアルノデゴザリマセウカ、私ハ其ノ點ハ了解ニ苦シムノデゴザリマス、尙政府ニ於カレマ

シテハ、政府ハ決シテ之ヲ濫用スルコトハシナイ、政府ヲ信任ヲシタラ宜インダト云フヤウナ御考ガアルカモ存ジマセヌ、最モ政府ノ御考トシテハ一應御尤デゴザリマス、併シナガラソコニ法律ガ出來、サウシテ廣汎ナル事項ニ付テ政府ニ委任ヲスルト云フコトデゴザリマスルナラバ、ソコニ之ヲ濫用スルト云フヤウナ餘地ハアルノデゴザリマス、濫用ヲスルヤウナ餘地ガアルヤウナ茲ニ法制ガ出來テ居リマスナラバ、如何ナル場合カ之ヲ濫用スルト云フ事實ガ現レヌトハ限リマセヌ、如何ニ信賴ヲシタ内閣デゴザリマシテモ、サウ云フヤウニ濫用スル途ガアルナラバ濫用スルコトガナイト云フコトハ斷ジテ保證ハ出來ヌノデゴザリマス、今迄衆議院アタリデ論ゼラレテ居リマスガ、近衛内閣デアレバ濫用ハナイ、併シ如何ナル内閣ガ出來ルカモ知ラヌノデアアル、サウ云フ場合ニ濫用ガ起ルカモ知レスデハナイカ、斯ウ云ハレテ居リマスルガ、是ハ極メテ其ノ場ヲ繕ツタルコトダト申サナケレバナラヌ、私ヲシテ云ハシメマスナラバ、如何ナル信任ヲシ得ル内閣デゴザリマシテモ、近衛内閣デゴザリマシテモ、斯ウ云フ濫用スルヤウナ途ガアルナラバ、或ハ濫用スルコトガアルカモ知ラス、サウ考ヘルコトガ當

然デナケレバナラヌト思フノデゴザリマス、ソレガ爲ニ我ガ憲法モ設ケラレテアルノデゴザリマス、從ッテ私ハ此ノ國家總動員計畫ヲ實施スルコトハ必要デアアル、之ニ對スル法律ヲ制定スルコトモ必要デアアル、併シナガラ其ノ法律ノ中ニ憲法ニ違背ヲスルトカ、或ハ憲法ノ精神ニ背クト云フヤウナコトガゴザリマスルナラバ、ソレハ改メテ行カナケレバナラヌ、斯様ニ思フノデゴザリマス、其ノ他ノ細カイ點ニ付キマシテ、多少不完全ナコトガゴザリマシテモ、是ハ認メテ行ク、此ノ大事ナ點ニ付キマシテハドウシテモ爲シテ行カナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、只今塚本委員カラ御提出ニナリマシタ修正ニ依ッテ見マスルト、本法ノ勅令ヲ以テ規定ヲスルト書イテアル所ヲ、別ニ規定ヲスルト書ク、サウ云フコトデゴザリマスルカラ、其ノ結果ハ、別ニ規定スルニ當リマシテハ、法律ヲ要スル事項ニ付テハ法律ヲ適用スル、法律ヲ要セザルモノニ付テハ命令ヲ以テシテモ宜イ、詰リ憲法ノ條規ニ從ッテ之ヲ規定シタラ宜カラウ、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデゴザリマス、極メテ適切ナル修正ト考ヘマスルカラ、此ノ修正案ニ贊成ヲスル次第デゴザリマス

○伊澤多喜男君 私モ塚本君ノ提出セラレ

マシタ修正案ニ賛成ヲ致シマス、私モ豫テ申述ベマシタヤウニ、此ノ種ノ立法ノ成立スルコトヲ賛成スルト云フコトノミデナク、非常ニ熱望シマス、モウ少シ言フナラバ、自分ハ此ノ種ノ立法ノ出來ルヤウニ相當ニ長イ間努力シマシタ、デアリマスカラシテ、只今申ス通り非常ニ之ヲ熱望シテ居リマス、サウシテ其ノ出來方ハ詰リ世ノ中ヲ刺激シ、我々國民ノ間ニ非常ナ心配ナ情況ナゾナシニ成立スルコトヲ望ミマス、ソレハドウ云フコトカト言ヘバ、要スルニ普通ノ立法手段ニ依ル、憲法ガ命ジテ居ル所ノ立法手段ニ依ル、斯ウ云フコトデアアル、デ私ハ段々ニ此ノ委員會デモ私モ質問申シマスシ、皆サシモ質問ニナリ、サウシテ一體普通ノ立法手段ニ依ッテ行クコトガ出來ナイ、ナゼ出來ナイカト云フコトヲ伺ッテ見タンデアリマスルケレドモ、我々共ニハ遂ニ何ニモ得ラレナイノデアリマス、今朝伺ッタコトニ付テモ矢張り少シモ我々共ハ何故一體法律デハ祕密ガ保テナクテ、勅令デハ祕密ガ保テル、ト云フヤウナコトニナルカラト云フヤウナコトモ一例デアリマス、ソレデ私ハ先達テ質問ヲシタ時ニモデス、今日迄衆議院デ質問應答ヲ重ネラレタリ、又貴族院デ質問應答ヲ重ネタ結果トシテ、何ニモ此ノ廣

汎包括的ノ委任立法ヲシナケレバナラスト云フヤウナ理由ガ少シモ判ラナイノデアリマスルカラ、是ハ何カ外ニ理由ガアル、其ノ外ニ理由ガアルナラバ大體是非説明シテ戴キタイト云フコトヲ希望シタノデアリマス、處ガ甚ダ遺憾デアリマスルケレドモ何等ノ御説明モ下サレナイノデアリマス、ソレナラバ遺憾ト云フコトハ或ハ遺憾デナイカモ知レマセス、要スルニ何モナイト云フコトニ歸著スルデアラウト思ヒマス、ソコデ塚本君ガ出サレタ修正案ニ依リマスレバ此ノ法案ハ成立サセマス、但シ今ノヤウナ此ノ法案全部ニ書イテアル所ノ大體「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト書イテアルノ「別ニ定ムル所ニ依リ」、即チ全部ニハ成立ツノデアアルケレドモ、普通ノ立法手段ニ依ッテ行ク、斯ウ云フコトデ誠ニ簡單明瞭デ、又非常ニ修正案トシテハ政府ニモ少シモ御都合ノ惡クナイ非常ニ結構ナ修正案ト思ヒマスカラ、是非此ノ修正案ニ賛成シタイト思ヒマス、願クハ諸君モ塚本君ノ修正案ニ全會一致ヲ以テ御賛成アラムコトヲ切望致シマス

○竹越與三郎君 私モ塚本委員ノ修正案ニ賛成ノ意ヲ表シマス、塚本君ノ修正説ガ成立テバ總動員ニ付テノ世間ノ不安ヲ除クコトガ出來ルト思ヒマス、總動員ノ目的ヲ達成スルニ於テハ何等ノ故障ガナイト思ヒマス、私ハ唯是ダケ申上ゲテ置キマス、此ノ主張ヲ貫クニ付テ、私ハ幾多ノ議論ヲ持ッテ居ル、併シ之ヲ述べルニ至ッテハ現内閣ノ「イデオロギー」、構成分子、各大臣ノ言論ニ批評ヲ加ヘネバナラス、是ハ甚ダ私モ今日ノ時局ニ於テ此ノ内閣ヲ私ハ傷ツケタクナイ、所謂鼠ニ投ゼムト欲シテ器ヲ忌ムト云フノデアリマスカラ、私ハ此ノ主張ダケデ止メテ置キマス、敢テ議論ヲ述べマセス、此ノ目的ヲ達成スルニハ塚本委員ノ修正デ十分デアルト思フノデ賛成ノ意ヲ表シマス

○大島健一君 私ハ外ノ方面ヨリ自分ノ考ヲ述ベテ見タイト思ヒマス、委任命令ノ範圍ガ數ガ多ク、且廣範圍ニ互ッテ隨意ニ各種ノ規定ヲスルコトハ甚ダ危險デアルト云フ御意見、之ニ對シテノ政府ノ御答辯モ皆様御承知ノ通り、要スルニ此ノ二ツノ大綱ハ過日來ノ御議論デハ能ク調和スル理論デアリマス、其ノ點ハ私自ラモ御尤モト感ジテ居ル次第デアリマス、併シ此ノ全國ヲ舉ゲテノ大事業、又委員諸君モ法案全體ハ成立サセタイト云フ御意見モ御尤モ千萬デアリマス、ソコデ私ハ昨日當局ニ質問ヲ致シマシタ點ニ於テ、此ノ動員ノ實體ト云フモノヲ略、伺フコトガ出來タノデアリマス、デ此ノ法案ガ發布サレ、バ直チニ總動員ノ計畫ニ向フ、ソレヲ企畫院總裁ハ昨日綜合總動員計畫ト云フコトヲ言ハレマシタ、如何ニモ各省各個ニ其ノ所管ノコトハ有事ノ日最モ有力ニ最大ノ能力ヲ發揮シ得ルヤウニ計畫ヲサレルデアリマセウ、又陸海軍、鐵道、逓信等ニ至リマシテハ舉ゲテ總テノ資材ヲ有力ニ使用スル方ノ側カラ各種ノ計畫、即チ重キ規模ニナリマセウ、斯ウ云フモノガ有事ノ日ニ是等ヲ綜合シテ、總動員ノ中央部デハ先ヅ最大ノ能力ハ此處迄出ル、尙是デモ此ノ資力ノ上カラ我が國勢ノ大部分ヲ發揮スルニ足リナイ、斯ウ云フコトガアレバソレヲ増スト云フコトモナサラヌケレバナラス、是ハ本法ノ第三條ニアリマス物資ノ政策其ノ他金融ニアリ、運輸通信ニアリ、是等ノコトヲ總テ綜合的ニ考ヘ、各省ノ計畫モ亦總テ之ニ應ズルヤウニ生産能力ヲ増ストカ、種々ナル全國ニ互ル、此ノ第三條ニ掲ゲテアルヤウナ業務ヲ動員シ得ル計畫ヲ樹テナケレバナラス、此ノ案ガ出ルト直グニソレガ出來ル、ソレカラ年々之ガ更新サレテ行ク、是ハ事柄ノ上デ言ヘバ誠ニ簡單ナ話デアリマスガ、此ノ箇條ガ示シテ居ルダケデモ六箇條以上、ソレニ各

種ノモノガ入ッテ居ル、是等ノ動員ヲスルト云フコトハ、此ノ勅令ノミデ行ケルナドトハ到底考ヘラレヌコトデ、是ハ皆様モ此ノ實體ヲ御考ニナツタラ御了承ノコトト存ジマス、丁度昨年来、輸出入ノ管理、或ハ金ノ生産ヲ高メルト云フヤウナコトニ付テ、細カイ法令ガ出テ居リマスケレドモ、サウ云フ有様デ各種ノ法規ガ集リ、ソレ等ニ依ッテ此ノ總動員ノ本ガ出来テ、ソレヲ有事ノ際ニ取捨、綜合、利用スルト云フヤウナ點ニ於テ、見方ニ於テ此ノ勅令ノ發動ヲ要スルモノデアラウト思フノデアリマス、果シテサウ云フモノニナレバ、只今アル所ノ諸法規ニ似寄ッタ法規ガ是ト連絡ナシニ、寧ロ其ノ事業ソノモノニ必要ナ法規ガ澤山出テ来ヨウト思フノデアリマス、ソレ等ハ皆憲法ノ條章ニ根據ヲ有シテ出来テ居ルモノデアル、其ノ條規ヲ多少取捨綜合スル上ナドニ要スル所ノ此ノ勅令ニ、非常ナ惡用ノ意ヲ以テスルト云フヤウナコトハ出来ナイデアラウ、木ニ竹ヲ接グヤウナモノハ出来ナイ、總テノ法規ト相伍シテ、憲法ノ精神ニ依ッテ動クモノデナケレバナラス、是等ハ過日來政府モ、憲法ノ精神トチットモ違フモノデハナイ、殊ニ其ノ後口ニハ聖天子ガ在スデハナイカ、此ノ心掛デヤルト云フ御

言葉モアリ、又モウ一ツニハ政府モ餘程重キヲ置イテ居ラレルヤウデ、是ハ此ノ動員ダケデハナクシテ、精神ノ動員迄ヤッテ居ラレルノデ、此ノ動員ト云フヤウナコトハ國民ノ是等ニ對スル感情、國民ノ熱意ト云フモノガナクテハ完全ニハ行ハレヌノデアリマスカラ、有力ナル動員計畫ヲ樹テ之ヲ實施シヨウトスルニハ、民意ニ背クヤウナ命令ハ出来ナイモノト私ハ考ヘルノデアリマス、法規、法令ニ造詣ノ深イ諸君カラ御議論ハ御尤モニ存ジマスガ、私ハサウ云フヤウナ考ヲ持チマスノデシテ、只今塚本君ノ仰シヤル通り、ソレダケノコトナラ、俺等ノ言フコトデ行ケルト云フ御議論モアルカモ知レマセヌガ、或ハサウカト思ヒマスガ私ハ、此ノ勅令ト云フコトニナッテ居ルノデ、此ノ複雑ナルモノヲ結び付ケタリスルヤウナ仕事ヲ、單簡ニ是デヤラレルヤウニシテ置クコトハ、有事ニ迫ルト云フヤウナ場合ニハ殊ニ必要デアアル、ソレカラ此ノ二十條迄ニアル勅令ハ、昨日モ是等ヲ確メル爲ニ動員計畫ノ實體ノ側カラ申シテ伺ッタノデアリマスガ、是等ガ動員計畫ノ根本計畫ガ出来テ居ッテ、其ノ全部ナリ一部ナリ或モノナリ、有事ノ日ニ眞ノ動員ニ移ル、即チ實行ニ移ル、此ノ場合ニハ此ノ勅令デ行

ク、此ノ御説明ハ過日來、司法大臣ヨリ屢伺ヒマシタ、所謂千變萬化、斯ウ云フコトデアリ、勅令デ此ノ緊急ノ場合直ニ行ケルト云フコトニ殘シテ置ク方ガ都合ガ宜シイト思ヒマス、之ヲ除クト云フ方ハ惡用ヲ怖レルノデアリマスガ、私ハ今ノヤウナ考ヲ以チマシテ之ヲ惡用スル餘地モナケレバ、惡用ヲスルガ如キハ、是迄ノ諸法令ニ勅令ニ依ッテ云々ト云フコトガアッテモ、曾テサウ云フコトヲ聞イタコトモナイノデアリマス、ソレ故ニ是デ殘シテ置イタガ宜カラウト思フノデアリマス、尙動員計畫ハ此ノ法令ガ出テ、今回初メテデアリマスカラ、サウシテ實行サレルコトハ、動員ノ計畫ナルモノハモウ普段ノコトデアッテ、決シテ戰時咄嗟ノ間ニヤラナケレバナラヌヤウナ動員計畫ヲヤルノナラバ、ソレハ動員計畫デハナクシテ、ソレハ戰時應急ノ措置ニ過ギナイ、應急ノ措置ハ遺漏ガ多イカラ平時カラ之ヲヤッテ置クト云フコトニナリマス、今ノ如ク諸法規ノ關係、各種ノ關係ガアッテ、私ハ左程恐レル必要ハナイト思ヒマス、仍テ此ノ案ノ通り、只今大井君カラモ御意見ガアツタヤウデアリマスガ、通過シテ宜シイモノト私ハ考ヘマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ御意見ガ

ナケレバ採決ニ入りタイト存ジマス、先ヅ最初ニ塚本君カラ御提出ニナリマシタ修正案ニ付テ採決ヲ致シマス、塚本君ノ修正案ハ其ノ朗讀ヲ省キタイト存ジマス、塚本君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
(起立者少數)

○委員長(子爵渡邊千冬君) 少數ト認メマス

○山岡萬之助君 チョット……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 何デスカ

○山岡萬之助君 私ハ原案ニ對スル賛成意見ヲ述ベタイト存ジマス、本案ガ近時ノ戰爭ニ於テ全國力ヲ傾倒スルノ必要ノアリマス場合ニ、國家動員ノ必要ナルコトハ何人モ疑ハナイ所デアリマス、唯本案ニ付キマシテハ立法ノ構成ト、段々政府ノ御説明ノ點ニ於テ遺憾ノ點ナシトシナイノデアリマス、ソレガ爲ニ幾多論議スベキモノガ現レテ參リマシタ、其ノ主ナルモノハ憲法ニ於ケル三十一條ノ非常大權ノ干犯、又委任命令ノ規定ガ如何ニモ廣過ギルニ依ッテ、是ハ立法手續ニ依ルベキモノデ、之ヲ避ケテ居ルト云フコトハ、之ニ依ッテ臣民ノ憲法上ニ保障サレタル權利ヲ危殆ニ導クモノデアアル、又法ノ力ヲ以テ國民ノ權利ヲ拘束スル、

斯様ナコトハ國民ノ忠誠ノ念慮ヲ障礙スルモノデアル、大體サウ云ツタコトガ主ナ私ハ非難ト思フノデアリマス、是故ニ私ハソレヲノ點ニ關シマシテ質問ヲ試ミタ所以デアリマス、今日我が國ノ情勢ハ一層國防力ヲ強化致シマシテ、東洋平和ノ保持ノ大任ヲ完フスル、所謂躍進日本ノ姿ヲ顯現スルノ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ斯クノ如キ非難ガ説明ガ出來マスルナラバ、既ニ一院ヲ通過シテ居リマスル法律デアリマスルガ故ニ、速カニ之ヲ協賛シテ以テ國法ト爲スコトガ必要ナリト考ヘルノデアリマス、サウ云フ次第段々質問ヲ致シ、政府ノ御答辯ヲ煩シタ次第デアリマスルガ、ソコデ私ハ質問應答ノ結果、本案ガ憲法ニ牴觸スルモノデナイト云フ考ニ到達致シタノデアリマス、而モ之ニ關シマシテハ特ニ首相ヨリ言明ヲ致サレタ點ガアルノデアリマス、即チ委任命令ノ規定極メテ廣シ、又本案各本條ニ規定スル所ノ事項極メテ廣シ、然レドモ其ノ委任勅令ヲ制定シ、之ヲ運用スル場合ニ於テハ憲法ノ條規ニ牴觸スルコトナク、即チ憲法ノ範圍内ニ於テ、而モ本案各本條ノ爲ニ豫定シタル所ノ事項ヲ逸脱スルコトハシナイ、斯ウ云フ言明デアリマシタ、サウナリマスルト云フト、此ノ

委任命令ノ問題ト云フモノガ自カラ解決サレルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ委任命令ナルモノガ若シ本案ニ於キマスル所ノ、各本條以上ニ出ルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレハ即チ精神的ニ憲法ニ牴觸スルバカリデハナイ、形式ノ上カラ憲法ニ違反スルモノデアル、デアリマスルカラシテ、此ノ各本條ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リト、斯ウ云フ規定ガ、其ノ範圍ヲ越スト云フコトナカリセバ私ハ安心スルコトガ出來ルノデアリマス、ソコデ私ハ、茲ニ一言説明ヲ加ヘテ置キタイ、即チ此ノ中ニハ精査致シマスレバ、執行命令ノ規定ガ相當ニアルノデアリマス、中ニハ確カニ勅令ノ定ムル所ニ依リ、ト云フノヲ削除シテモ宜イト云フモノモアルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、其ノ内容ニ於テハ之ヲ修正シテモ一向差支ナイモノモアツテ、而モソレヲ修正スルトセザルト、即チ原案ニ依リマシテモ政府ノ考ヘル所、即チ總動員ノ目的トスル所ハ十分ニ達成出來ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ、同ジ結論ニ到達致スノデアリマスカラシテ、私ハ、其ノ點ニ於テ本案ヲ以テ正當ナリト考ヘマスルノデアリマス、況ンヤ是ハ多年總動員ノ計畫ヲ樹テ來マシテ十數年ニ及ンデ居リマス、

ソレヲ法規化シタノデアリマス、此ノ點ニ私ハ、原案賛成ノ上ニ立デル次第デアリマス、其ノヤウナ次第デアリマシテ、此ノ法案ニ對シマシテハ賛成ヲ致スノデアリマスルガ、併シナガラ幾多ノ非難ノアリマスルト云フコトハ、政府ニ於テモ之ヲ十分ニ考慮セラレマシテ、勅令ノ制定ナリ、本案ヲ實施セラレマス場合ニ於キマシテハ、之ヲ眼中ニ御置キニナリマシテ、其ノ勅令ノ制定、本法律ノ實施ト云フモノニ當リマシテ萬違算ナキヲ期シ、即チ憲法ノ精神若シクハ形式ニ違反スルコトナキコトヲ期セラレムコトヲ願ヒマシテ、私ハ本案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス

〔山隈康君議事進行ニ付テ發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(子爵渡邊千冬君) 伊澤君ニ發言ヲ許シマシタ

○伊澤多喜男君 私ハ本案ニ賛成ノモノデアリマス……

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット伊澤君ニ申シマス……速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(子爵渡邊千冬君) 速記ヲ始メテ……

○伊澤多喜男君 私ハ本案ニ賛成ノ意見ヲ

述べマス、私ハ度々申シマス如ク總動員計畫ト云フモノハ、兎ニ角相當ニ長イ前ニ、今日發言ナラバ最早既ニ遲シト云フ位ニ、總動員計畫ノ結果トシテ總動員法ガ出ルト云フコトハ、モット前ニモウ出來テ居ルベキデアルト思フ、ソレガ今日迄出來ナカッタコトハ今日デスラ非常ニ遅イ、非常ニ私ハ残念ニ思ッテ居リマス、デ此ノ法律案ガ出ヨウト云フコトヲ新聞紙上等デ、耳ニシマシタ時ニ私ハ、之ノ出ルト云フコトハ非常ニ結構デアル、結構デアルケレドモ勿論、成ルベク世ノ中カラシテ憲法ノ精神ニ反スルトカ、或ハ立憲政治ノ行キ方ニ副ハナイト云フヤウナ非難ノナイヤウニシタイト云フ衷情カラシテ、色々ノ方面ニ向ッテ實ハ忠告ヲシタノデアリマス、サウ云フ方法ヲ御執リニナラスガ宜シイト云フコトヲ、有ラン限りノ方法ヲ以テ私ハ忠告シマシタ、處ガ甚ダ遺憾デアルケレドモ斯様ナ法案ガ出テ來マシタ、ソレデ何トカシテ之ヲ救ヒタイ、サウ云フコトデナクテ、モット國民全體ガ喜ンデ迎ヘルヤウナ法律ニ致シタイト云フコトヲ私ハ、自分ノ貴衆兩院ニ於ケル同志ハ勿論ノコト、他ノ方面ノ人々トモ私ハ話ヲシマシテ、サウシテ之ヲ何トカシテモット所謂憲法ノ精神ニ十分ニ副ヒ、又立憲

政治、普通ノ立憲政治ニ近イモノニシナケ
レバナラス、言ヒ換ヘレバ普通ノ立法手續
ニ依ルヤウニシタイト云フコトデ努力致シ
タノデアリマス、ソレデ先刻私ハ、塚本君
ノ案ニ賛成シマシタノモ其ノ爲デアリマス、
政府ノ今日迄、色々仰セラレルコトヲ伺ッテ
見テ、此ノ塚本君ノ修正案デ何モ御差支
ハナイト云フコトヲ確信シマス、ソレ故ニ
私ハ塚本君ノ案ニ賛成ヲシテ、サウシテ此
ノ委員會ノ諸君ノ是非御賛成ヲ仰ギタイト
思ッタノデアリマスケレドモ、遂ニ御賛成ヲ
得ルコトガ出来マセヌデ、我々ノ支持スル
案ハ倒レタノデアリマス、此ノ倒レタ時ニ、
茲ニ原案ニ對シテ私ガ、ドウ云フ態度ヲ執
ルベキカト云フコトニ付テハ、私ハ無論當
然考ヘナクチャナラスト思ヒマス、賛成ス
ベキカ反對スベキカ、當然ナコトト思ヒマ
ス、デ私ハ前來申シマス通りニ此ノ法律案
ト云フモノハ、我々共ハ決シテ良イモノト
思ッテ居ナイ、非常ナ大キナ缺陷ノアルモ
ト私ハ思ッテ居リマス、思ッテ居リマスルケ
レドモ、此ノ法案ガ否決サレテ、成リ立タナ
イト云フコトト、如何ニ不完全デアッテモ成
リ立タセルト云フコトト、此ノ岐路ニ立ッ
時ニ私ガ右ニ往クカ左ニ往クカト言ヘバ、
私ハ所謂右ニ往ク、本案ニ賛成スルヨリ致

シ方ナイノデアリマス、私ハ實ニ鐵血ヲ吞
ムヤウナ氣持デ本案ニ賛成ヲ致シマス
○松村義一君 私ハ甚ダ遺憾デゴザイマス
ルガ、本案ニ反對ヲ致シマス、國家總動員
計畫ガ極メテ必要デ、而シテ之ガ爲ニ法律
ヲ作ルコトガ必要デアアル、併シナガラ本案
ニハ缺陷ガアルカラ之ニ對シテ修正案ガ出
タノデアリマス、私共、其ノ修正ガ適當ナ
モノト認メマシテ賛成ヲ致シマシタ、遂ニ
修正案ハ敗レタ、茲ニ於テ只今伊澤サンノ
御話ノヤウニ本案ニ賛成ヲスベキカ、或ハ
反對ヲスベキカト云フコトハ重大ナル問題
デ、私共其ノ岐路ニ立ッテ居ル、大體總動員
計畫ガ必要デアアル、法律ガ必要デアルト云
フノデアアルカラ、修正案ガ敗レタナラバ本
案ニ賛成ヲスルト云フ只今ノ伊澤サンノ御
議論モ、一應御尤ト思ヒマス、併シ私ハ翻ッ
テ考ヘテ見マスルト、本案ノ缺陷ナルモノ
ガ普通ノ缺陷ナラバ、ソレデ宜シイ、普通
ノ缺陷ナラバ其ノ修正案ガ敗レテ本案ニ賛
成スルト云フコトハ、次善ヲ探ルト云フ意味
デ結構ナコトト思フノデアリマスガ、私共ノ
修正案ニ賛成ヲ致シマシタノハ本案ガ憲法
違反ノ疑ガアル、少ク共憲法ノ大精神ニ反
スルモノト思フ、從ッテ其ノ點ヲ直ス爲ニ修
正案ヲ出サレタ、其ノ修正ガ潰レタノデア

リマスルガ、依然トシテ本法ニ於キマシテ
ハ、憲法上ノ重大ナル疑義ガ殘ッテ居ルノデ
ゴザイマス、私共、貴族院ニ籍ヲ置イテ居
リマス者ハ、憲法擁護ト云フ立場ニ付キマ
シテハ飽ク迄熱心ニ考ヘテ行カナケレバナ
ラス、是ガ私共ノ最モ必要ナル考ヘ方デナ
ケレバナラスト思フノデゴザイマス、苟モ
法案ヲ審議スルニ當リマシテ、是ガ憲法ノ
大精神ニ反スルト云フ考ヲ持テバ無論デゴ
ザイマスガ、憲法違反ト云フ疑ガアル、憲
法ノ精神ニ反スルヤウナ疑ガアルト致シマ
シテハ其ノ法案ニ協賛スル譯ニハ參リマセ
ヌ、私共ガ本案ニ協賛致シマスルニ付キマ
シテハ、憲法上ノ疑義ガ無い、憲法上極メ
テ正當デアルト云フコトヲ確認スルニアラ
ザレバ協賛ハ出来マセヌ、是ガ私共ノ重大
ナル職分デアルト確信ヲ致シマス、而シテ
本案ハ私、先程申シマスルヤウニ憲法上ノ重
大ナル疑義ガ殘ッテ居ルノデアリマスルカ
ラ、ドウシテモ反對ノ立場ニ立タナケレバ
ナラスノデアリマス、固ヨリ國家總動員計
畫ハ必要デアアル、ソレガ根據トナルベキ法
律ノ成立モ必要デゴザイマスルカラ、政府
ハ直チニ研究ヲ遂ゲラレマシテ、直チニ適
當ナル國家總動員法ヲ御作りニナリマシ
テ、次ノ議會ニ御提出ニナッタラ然ルベキモ

ノダト思フノデアリマス、御急ギニナリ
マスルナラバ臨時議會ヲ召集サレテモ宜
イ、或ハ二箇月ノ後、三箇月ノ後ニ臨時議
會ヲ召集サレマシテ、憲法上ノ疑義ヲ取去
テ、サウシテ帝國議會ニ御提出ニ相成ルベ
キモノデアルト思フノデアリマス、若シモ
此ノ二箇月、三箇月ノ間ニ研究ガ遂ゲラレ
ナイト云フナラバソレハ何トモショウゴザ
イマセヌガ、若シモ亦其ノ間ニ緊急已ムヲ
得ヌコトガ生ジタイト云フコトガ、若シア
リマシタナラバ、或ハ本法案ノ全部ニ互リ、
或ハ本法案ノ一部ニ互リマシテ、緊急勅令
ヲ御出シニナル手續ヲ取ラレテモ、宜イト思
フノデアリマス、從ッテ此ノ際本案ガ成立致
シマセヌデモ、何時デモ此ノ重大時局ニ處
スルノ途ハ講ゼラレル筈デアルト私ハ確信
スルノデアリマス、或ハ當委員會ニ於キマ
シテモ、本案ニ反對ヲ致ス者ハ私ダケデア
ルカモ知レマセヌ、私共ノ屬スル公正會ニ
於キマシテモ、委員ガ五人デゴザイマスル
ガ、四人ノ方ハ無論賛成デゴザイマス、今
日總會ノ狀況ヲ見マシテモ其ノ様子ヲ見マ
スレバ、私ヲ除ク全部ノ御方ハ賛成デア
ルト思ハレマス、併シナガラ私ハ唯一人デモ
構ハヌ、自分ガ憲法ノ精神ニ反スルノ疑ヲ
持チマスル以上ハ、斷ジテ之ニ賛成スルコ

トハ出來マセヌ、一人デモ是ハ已ムヲ得ヌ
ノデアリマス、以上ノ趣旨ヲ以チマシテ誠
ニ殘念デゴザイマスルガ、本案ニ反對ヲ致
シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 別ニ御意見ガ
ナケレバ採決ヲ致シタイト存ジマス、政府
提出ノ原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(起立者多數)

○委員長(子爵渡邊千冬君) 多數ト認メマ
ス、政府提出ノ國家總動員法案ハ當委員會
ニ於テ可決ニナリマシタ、之ヲ以テ此ノ委
員會ハ閉會ヲ致シマス

午前十一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵大井 成元君
委員

公爵島津 忠承君
侯爵四條 隆愛君
侯爵井上 三郎君
伯爵二荒 芳徳君
子爵青木 信光君
子爵曾我 祐邦君
子爵岡部 長景君
大島 健一君
水野鍊太郎君

宇佐美勝夫君

男爵紀 俊秀君

伊澤多喜男君

塚本 清治君

山川 端夫君

白根 竹介君

男爵渡邊 汀君

黑崎 定三君

男爵伊江 朝助君

竹越與三郎君

山岡萬之助君

松村 義一君

中村圓一郎君

金杉英五郎君

山隈 康君

國務大臣

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

政府委員

法制局參事官 森山 銳一君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

同 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

外務省調查部長 米澤 菊二君

內務政務次官 勝田 永吉君

陸軍中將 山脇 正隆君

海軍少將 井上 成美君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

文部政務次官 内ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

拓務參與官 伊禮 肇君

拓務省管理局長 棟居 俊一君

厚生省勞働局長 成田 一郎君